

栄光をお受けになられたイエス
フォニックス アリゾナ州 アメリカ合衆国
1955年02月25日

1 こんにちは、友よ。

主イエスのお名前によって、今夜もここで皆さんに仕えることができることを、本当に嬉しく思います。

バラード兄弟とスタッフの方々が、下の方で笑っておられたのですが、私はその理由がわかりませんでした。すると、バラード兄弟が、とても愛らしい小さなインディアンの赤ちゃんを連れて来てくださったのです。ちょうどこれくらいの背丈で、床をよちよち歩いていたのです。なんと素晴らしいことでしょう。

前に保留地に行った時も、一人のインディアンの女性が、小さなかごに赤ちゃんを背負って出て来られました。私はその子と少し遊んでから、「その子を…私にくださいますか?」と尋ねたのです。すると、そのお母さんの目がパツと輝いて、「いいですよ。でも、赤ちゃんは連れて行かないでくださいね」と答えられました。

2 主の御心なら、明日の午後二時に、保留地の上って行き、本当のアメリカ人であるインディアンの方々に仕える予定です。主の祝福がありますように。前回——もう七年ほど前になりますが——あの場所で持たせていただいた集会のような、恵み深い集会となることを願っています。あの時のインディアンの人々の謙遜で純粋な信仰を思い返すと、これまでのどの集会も必ずあの集会のことを思い出してしまうのです。

私はしばしば思うのです。いつかアメリカ全土を巡り、ただインディアンの保留地だけを訪ね歩き、そこでインディアンの方々のために祈る旅をしてみたい。もし十分な数の宣教師の方々とつながることができ、彼らが支援をしてくださるなら…いや、大げさな後ろ盾はいりません。ただ、インディアンの方々と共に保留地に入ることができれば、それでよいのです。

3 少し前、カリフォルニア州ロサンゼルスで、大きな集会を持たせていただきました。今度私たちが向かおうとしている家畜展示場での集会です。そこには何万人という人々が集まっていました。ある夜、私はふと気づきました。群衆の大きな一角に、クロウ族のインディアンの人々がいたのです。はるか北、リトル・ビッグホーン川のあたりから来られていたのです。

その時私は心に思いました。「ああ…。」そして数日後、カナダへ向かう途中でその保留地を通り過ぎたのです。「あの人たちのために、ぜひここで集会を開かせてもらいたい」と強く思いました。彼らの信仰は本当に単純で、ただ信じるのです。何かを計算したり、理屈で考えようとしたりはしません。ただ語られた言葉をそのまま受け入れて進んでいくのです。私はそういう信仰が大好きです。残念ながら、私たちはそのような単純さから離れてしまったのではないのでしょうか。そうです、信仰の単純さこそが大切なのです。

4 さて、今夜の集会が終わりますと、次は日曜日の午後まで、ここでの講堂での礼拝はお休みとなります。というのも、愛する友であるシュライナーの方々が、土曜日の夜にこの講堂をお使いになるかもしれないからです。私たちはもちろん、それに敬意を表し、喜んで場所をお譲りいたします。そして主が彼らを祝福してくださいますようにと、心から祈ります。

それから、この町でいくつかの集会の案内を目にしました。「リバイバル」と書かれた看板があちこちに出ています。もし皆さんが集会を開いておられるなら、その小さな案内票をここに出していただければ、私たちも喜んでそのことをお知らせいたします。

5 今朝は「アッセンブリーズ・オブ・ゴッド」の教会に出席し、朝の集会を持たせていただきました。とても祝福された礼拝でした。そこで私は伝道者の方のお話を聞いておりました。お名前を思い出せなかったのですが…[誰かが「ハイガン」と答える]——そう、ハイガン兄弟。とても信頼できる教師であり、牧師でもある、本当に素晴らしい方でした。

彼らは、私たちのキャンペーンと同じ時期にリバイバルを予定してしまっており、それをとても申し訳なく思っておられました。しかし、その準備はもう一年ほど前から整えてあったので、進めなければならなかったのです。それで全く問題はありません。

むしろ私たちは、彼らに私たちの愛を示したいのです。私たちは主の働きにおいて分裂しているのではなく、一つのからだとして共に歩んでいるのです。ですから、彼らを心から愛しているということを表したいのです。

そして毎朝、十時から十一時まで、そこで礼拝が行われています。今朝はハイガン兄弟が「神の癒し」

について教えてくださいましたが、それは本当に素晴らしいメッセージでした。私は深く感謝しています。今朝が初めてお会いし、握手させていただいた時でしたが、実に立派な兄弟であると感じました。

6 このあたりで「生ける神の教会」といった名の小さな教会を見かけました。そこでリバイバルが行われているようです。牧師がどなたかは分かりませんが、「毎晩礼拝があります」と書かれていました。具体的に何時からかなどの詳細は分かりませんが、日曜日には確かに集会があるようです。

ここにおられる皆さんの中で、町の外から来られた方々は、日曜日の朝にはぜひ近くの良い教会に足を運んでください。ここに並んでおられる牧師方は、フェニックスにおける兄弟愛を代表しておられるのです。ですから、皆さんもどこかで礼拝に参加されると良いでしょう。

そして、主が御心なら、私たちは日曜日の午後に再びここに戻り、伝道メッセージを語らせていただきます。主がそれをお許しくださいれば、日曜の夜は癒しの集会を続け、来週の火曜日、いや、水曜日——そう、この次の水曜日まで集会を続けることになります。

7 そして、木曜日の朝にはロサンゼルス「エンジェラス・templ」へ向かい、ロルフ・マクファーソン兄弟と、その牧師であるティーフォード兄弟と共に、五夜にわたる集会を持つ予定です。これは教派を越えた伝道的な働きとなるでしょう。

その後は、「クリスチャン・ビジネスマン協会(フルゴスペル・クリスチャン・ビジネスマン・インターナショナル 全福音クリスチャンビジネスマン協会)」が、家畜展示場での集会を主催します。場所はダウニーとサウスゲートの間あたりで、昨年も集会を持った所です。その近辺にお住まいの方や、ご友人がおられるなら、ぜひいらしていただきたいと思います。主の御名によって仕えることができれば幸いです。

さて、明日は——(おそらく一般公開だと思いますが、確かではありません)——アパッチ・インディアンの保留地で午後に集会があります。ここに「ナバホ」と呼ばれる部族はおられますか? もし可能であれば、いつかナバホの保留地にも伺い、宣教師の方を通して時間を設けていただき、そこで集会を持たせていただければと願っています。

8 さて、今夜私はこう考えました。とても良いことだと思うのですが……。この会場の中で「祈りのカード」をお持ちの方はどれくらいいらっしゃいますか? 手を挙げてみてください。あちらにも、こちらにも祈りのカードがありますね。——そうですね、なかなか良い人数です。

私たちは、その祈りのカードをお持ちの方、すべての方のために祈るつもりです。私たちの責任はそれを行うことです。実際、祈りのカードをお渡しした以上、その方々のために祈ることは義務なのです。ただ、皆さん全員をこの祈りの列に一人ひとり通すことはできません。ご覧のように、いくつかの幻をいただくと、私の力はすぐに衰えてしまい、すべての方にその方法で応じることはできなくなってしまうのです。

けれども、私の集会はそもそも「一人ひとりと個人的に接触すること」に基づいているわけではありません。それは、主イエス・キリストが崇められること、その復活の力に基づいているのです。人々が御言葉の説教を聞き、それによって主イエスを信じるためなのです。

そして、復活の主イエスご自身が、私たちのただ中に臨み、この地上におられた時と同じ御業をなしてください——それこそが、主の永遠の全能を証しすることなのです。イエス様は今も、そして永遠に私たちと共におられるのです。クリスチャンの皆さん、私たちは決して主から離れることはありません。永遠に、永遠に、私たちは主と共にあるのです。(なんと素晴らしいことでしょう!)

主イエス・キリストと、永遠に、永遠に結び合わされているのです。主はこう約束してくださいました——「わたしは、あなたと、いつも共にいる」と。私はこの約束が大好きです。皆さんはいかがですか? 本当に素晴らしいことです。そして私の集会も、その信仰の上に立っているのです。ただ見上げて、そして生きる——信じる者たちは、そのようにして命を受けるのです。

9 オズボーン兄弟——あの方は本当に素晴らしい方です。トミー・オズボーン、彼はフェニックスにも来られたことがあると思いますが、皆さんが出会うことのできる最も立派な兄弟のひとりです。そしてオーラル兄弟——そう、オーラル・ロバーツでしょう——そのほかにも、多くの伝道者たちが病の人々のために祈っておられます。なんと多くの方々为主に仕えておられることでしょう。

彼らはこの町にも来られ、それぞれ異なるタイプのミニストリーを行います。ある人々は「按手」を行い、またある人々は「油を注ぐ」ことをします。そして、そのすべてが聖書の中に記されているのです。その通りで

す。そうです、兄弟姉妹。彼らはみな神の僕であり、できる限り最善を尽くして皆さんのために仕えているのです。私はそう信じますし、それぞれの人についてそう信じています。

町の通りには、大きな教会も、小さな伝道所もあります。大きな教会だからこそ届く人々がいますし、小さな伝道所だからこそ救われる人々もいます。片方が届かない魂に、もう片方が届くのです。

私は、どの働きも尊く、そこに仕えるすべての兄弟たちは素晴らしいと信じています。たとえ私たち主のしもべが、神学的な部分で多少の意見の違いがあったとしても、それはキリスト・イエスにある神の愛から私たちを分け隔てるものではありません。私たちは皆、主を愛しています。そして、それぞれの教会や伝道所は、灯台のような存在です。人々がそれぞれの道を通して、主イエス・キリストを見出すことができる場所なのです。

10 さて今夜、集会の責任者であるムーア兄弟と話し合いました。そこで、「今夜はよい機会かもしれません。できるだけ多くの方々に前に出ていただき、(最後の夜にすべてを残すのではなく)、祈りの列を通して一人ひとりのために祈りましょう。ただし“識別”を伴わない祈りとして」と考えました。

ここでお尋ねします。識別の働きを見たことのある方は、どれくらいいらっしゃいますか？ 手を挙げてください。……会場の至る所で手が挙がっていますね。ああ、なんと、ほぼ百パーセントの方々がご覧になっているのですね。よろしい。

ですから、まずは少し御言葉を語らせていただき、その後で祈りのカードを持っている方々をお呼びしましょう。つい先ほど、私の息子が小さな紙切れを持ってきてこう言いました。「祈りのカードは A、E、P、そして M が出ています。」——つまり四百枚の祈りのカードが出ているということです。ですから、私たちはそのすべての方々のために祈りたいのです。しかしながら、一人ひとりに“識別”を行うことはできません。

するとムーア兄弟がこう言いました。「ブラナム兄弟、中には“按手”によって祈られることを教え込まれてきた方々がおられます。彼らにとっては、それがどうしても必要なのです。」

11 私がこれまでで最も長く祈りの列に立ったのは、アリゾナ州フェニックスでのことでした。十時間にも及んだのです。そうでしたね、兄弟？ 十時間、祈りの列を続けたのです。ああ……その後はあまりに疲れて、二、三日はほとんど歩くこともできませんでした。

また、インディアン人の保留地では、ある日の午後から始め、終わったのは翌朝の四時頃でした。最初は人々も「これは作り話だ」と思っていたようですが、やがてそれが主の御業であることを本当に見たとき、人々はどっと押し寄せて来ました。

私はあの夜のことを決して忘れることはありません。腰まで水に濡れながら、川を渡って来た人々もいました。浅瀬まで回り道をせず、ただ愛する人を祈ってもらうために、まっすぐに川を渡って来たのです。それは私の心に深く刻まれた思い出です。

やがて神の大いなる天の領域、あの川の向こう側で、私は彼らと再び会うことでしょう。そして共に、永遠に神を賛美し続けるのです。

12 では、皆さんにお尋ねします——この場におられる病の方々などをただ祈りの列に通して祈る、そのような集会を持つことが益になると思われる方はどれくらいいらっしゃいますか？ 会衆の皆さんのお気持ちを知りたいのです。信じる方は、どうぞ高く手を挙げてみてください。……はい、ありがとうございます。素晴らしいことです。

それでは今夜は、主が御心なら、そのように進めましょう。まず御言葉を語り、それから祈りの列をお呼びします。そこで私たちの主イエスが何をなさるかには分かりません。ただ、主は豊かに、思いも及ばないほどに、あふれる御業をなしてくださるかもしれません。

13 数週間前、私のタバナクルでのことです。識別の働きなどを伴わず、ただ祈りの列を設けました。そこにはおよそ百五十人もの方々が並びました。私はただ、一人ひとりに声をかけ、共に祈り、祈りの列を通して進んでいただいたのです。

すると、その方々が建物を出る前に、つまり祈りを受け、按手を受けてから外に出るまでの間に、なんと十六もの驚くべき奇跡が起こったと、案内係の方々が報告してくれました。小児麻痺で支え具をつけていた人がそれを抱えて帰り、腕が固まって上がらなかった女性が両手を高く挙げて神を賛美していたのです。

私は言いました。「ああ、本当にロバーツ兄弟の言う通りなのかもしれない……。」そう感じました。けれども、ロバーツ兄弟には兄弟の方法があり、私は主が備えてくださるその方法で行うのです。

14 さて、今夜は少しだけ御言葉からお話をさせていただきます。私は御言葉が大好きです。皆さんはいかがですか？ ああ、御言葉こそが、私たちが生きる糧なのです。

それでは、聖マタイによる福音書の第16章15節からを開いてみましょう。ここから数行を読み、今夜のテキストといたします。

長くはお取りしません。そしてこの後すぐに、病を抱える方々、苦しみの中にある方々をお呼びし、祈りの列に入らせていただきます。そしてそこで祈りをささげるのです。

ただ、その前に皆さんにお願いがあります。祈りの列を通るときには、持てる限りの信仰を心に集めて、「神がなしてくださる」と信じながら進んでください。そして「私はこの建物を出るとき、もう癒された者なのだ」と信じて出て行ってください。主はこう言われました——「もしあなたが信じることができるならば」。

15 皆さんご存じでしょう。イエス様はご自身の力によって癒されたのではなく、幻によって癒されたのです。そうですね？ この数日間、御言葉を通してお伝えしてきましたが、それを真理と信じる方はどれくらいいらっしゃるでしょうか？

主ご自身がこう言われました——「わたしは自分からは何もせず、父がなさるのを見たとおりに行うだけである」と。

ある時、盲人たちが道を下ってきて、イエス様を呼び求めました。しかし主はそれに注意を払わず、そのまま家に入られました。それでもなお、盲人たちは家までついて来て、叫び求め続けました。

そこでイエス様は彼らに振り向かれました——しかしその時、幻は与えられていませんでした。もし幻があったのなら、主はその幻を行われたでしょう。しかしその時には幻はありませんでした。そこで主は彼らにこう言われました——「あなたがたは、わたしがこれをできると信じるか？」

彼らは言いました——「はい、主よ」。

するとイエス様は彼らの目に指を触れて言われました——「あなたがたの信仰に従って、そうなれ」。

すると間もなく彼らの目は開かれました。主イエスご自身がそれをなさったわけではありません。主はそれについて一つも関与されたものではありませんでした。主はこう言われたのです——「あなたがたの信仰が……」と。そうではありませんか？ その通りです。信じたとおりになるのです。

16 衣の裾に触れたあの女の人を思い出してください。主イエスは彼女に手を置かれることさえなさいませんでしたね。

また、ローマの百卒長はこう言いました——「私は、あなたが私の屋根の下に入られるほどの者ではありません。ただお言葉をください。そうすれば、私のしもべは癒されます」。そこに彼の信仰があったのです。

しかし、ヤイロはユダヤ人であり、「按手による癒し」を教えられて育ってきた人でした。ですから彼は言ったのです——「どうか、私の娘の上に手を置いてください。彼女はいま死にかけていますが、あなたが手を置いてくだされば生きるのです」と。そこでイエスは、彼の家まで行き、手を置かなければなりませんでした。

けれども、異邦人の死にかけていた少年に対しては、「ただ御言葉をください。そうすればそれで十分です」と言ったのです。——すべては「あなたが何を信じるか」によるのです。

17 ですから、福音が説き明かされるときに、ただ見上げて信じることができるなら、それで決まるのです。その瞬間、あなたは癒されているのです。けれども、「頭で理解する信仰」では癒されません。必要なのは、心からあふれる「生きた信仰」なのです。

ここ(頭)でどれほど盛り上がったとしても、あるいはここでどれほど疑っていたとしても、もし心の奥底から「もう終わった、癒された」と告げるものがあるなら、それで終わりです。もはや恐れは一切なくなります。誰もあなたに「違う」とは言えません。なぜ信じているのか、理屈では説明できません。それは「理性」ではなく、「信仰」だからです。ただ信じるのです。そしてそのようにして癒しが起こるのです。信じて進む、それだけです。感覚や理性が何を言おうと関係ありません。

アブラハムとサラが子どもを授かること——理性では不可能でした。しかし彼らは信じました。人が鯨の腹の中で生き残ること——理性ではありえません。しかしそうになりました。死人をよみがえらせること——理性では到底不可能です。しかし主はそれをなさいました。そうです、その通りです。理性ではなく、信仰なのです。

18 それでは少しの間、御言葉に目を向けましょう。主が御心ならば、マタイによる福音書16章15節——そこを開いておられる方もいるでしょう。

「それでは、あなたがたはわたしを誰だと言うのか。」

するとシモン・ペテロが答えて言いました——「あなたはキリスト、生ける神の御子です。」

イエスは彼に答えて言われました——「シモン・バルヨナよ、あなたは幸いだ。このことをあなたに現したのは血肉ではなく、天にいますわたしの父だからである。わたしはあなたに言う。あなたはペテロである。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の門もこれに打ち勝つことはできない。」

——それでは、御言葉の著者なるお方に祈りを捧げるために、しばし頭を垂れましょう。

祈り

天の父よ、この御言葉を読みました。これが神の御子の聖なる唇から発せられたものであることを知っています。そしてその時、書記であるマタイがその場に立ち、主が語られたまを書き記しました。

父よ、私たちはこの御言葉をテキストとして受けました。どのように語り始めるべきかも分からないまま、ただこの聖句に心を寄せていたところ、あなたが導いてくださいました。ですから今夜、この御言葉に光を与えてくださいますように。

聖霊よ、この御言葉を取って、ここに集う一人ひとりの心に必要に応じて分け与えてください。信仰を人々の心に築いてください。まだ信じることも、あなたを受け入れることもしたことがない方が、今夜それをなして救われますように。神から離れている者も、十字架のもとにへりくだって来て、救われますように。

また、まだ聖霊を受けていない方々が、今夜聖霊によって新しく生まれ変わりますように。さらに病を抱えるすべての人、苦しんでいるすべての人が、今夜癒されますように。

この礼拝を通して、主よ、あなたの栄光が現れますように。私たちは自分自身をあなたに委ね、聖霊の御働きを求めます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

19 今夜、私たちが取り上げている聖書の御言葉……。しかし、どうやら幻が次々と現れ始めるなら、ここからは容易ではなくなりそうです。どうか私のために祈ってください。なぜなら、今まさにひとつの幻がここに迫って来ているのを私は見ているからです。

主イエス、神の御子よ……。

——あなた、本当に赤ちゃんを授かりたいと願っておられるのですね？ 神がその赤ちゃんを与えてくださると信じますか？ あなたは不妊であって、ご自身では子どもを持つことができません。しかし今、神がその子をご下さるようにと祈っておられる。そうですね、そこに座っておられるご婦人。祈りのカードをお持ちですか？——いいえ、持っていませんね。でも、必要ありません。イエス様がその赤ちゃんを与えてくださると信じますか？ それなら、あなたは授かるでしょう。神の祝福がありますように。さあ、心から主を愛しましょう。私は主が一度でも失敗されたのを見たことはありませんし、これからも決してありません。

ナザレのイエスが、ここで語っておられるのです……。あの小さな婦人——私がまだ御言葉を語り続ける前に、彼女の信仰が私を引き寄せました。おそらく、それは神の恵みだったのでしょう。彼女の頭上に光が立ち、開かれ、そして彼女が「赤ちゃんを与えてください」と祈っているのを示したのです。——その通りです。

20 ナザレのイエス、神の御子は、この会場におられるのです。そうです、イエス様は今ここにおられます。これこそ、パウロが福音を語った時と同じではないでしょうか。彼がある人をじっと見つめ、「私は感じる……」と言ったあの福音です。確かにそうです。これが「一度きり、聖徒たちに伝えられた信仰」なのです。

イエス様は、ペテロ、ヤコブ、ヨハネを伴って山に登られました。主の来臨を示すためです。主はこう言われました——「ここに立っている者の中には、死を見る前に神の国が力をもって来るのを見る者がいるであろう

う」と。そして主は彼らに、山の上で起こるべきことを示されました。

その時、彼らが最初に見たのは——栄光に輝くイエス様でした。これこそ、教会が地上で次に目にする事です。すなわち、栄光のうちに来られるイエス様のお姿です。

21 彼らが次に見たのは、モーセとエリヤでした。主の傍らに現れたのです。これは、教会が携挙された後、ユダヤ人の残りの者に対してなされる説教を表しています。

そしてその次に彼らが見たのは——ただイエス様おひとりでした。これは、主が再び来られ、千年王国において私たちと共に支配されることを示しているのです。なんと美しい光景でしょう。

イエス様は問いかけられました——「人々は、人の子であるわたしを誰だと言うのか？」

ある人は言いました——「あなたはエリヤです」。

またある人は言いました——「いや、あなたはモーセです」。

そして別の人は——「あなたはエレミヤ、あるいは預言者のひとりです」と。

するとイエス様はさらに問われました——「では、あなたがたは、わたしを誰だと言うのか？」

その時、ペテロ——ただの漁師であり、無学で、聖書によれば自分の名前さえ書けなかったと言われる——そのペテロがこう答えました。

「あなたはキリスト、生ける神の御子です。」

するとイエスはすぐに向き直り、言われました——「シモン・バルヨナよ、あなたは幸いである。このことをあなたに示したのは血肉ではなく、天にいますわたしの父である。あなたは神学校で学んだのではないし、誰かの言葉を鵜呑みにしたのでもない。天におられるわたしの父が、あなたにこれを示されたのだ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の門もこれに打ち勝つことはできない。」

22 さて、この場におられる神学者や兄弟姉妹の中には、この点で私と意見が異なる方もおられるかもしれませんが。ですが今夜は、祈りの列に入る前の短い小さな説教のように、この聖句を取り上げて考えてみたいと思います。祈られる方々が多くおられるので、少し急ぎ足になりますが、お許しください。たとえ意見が違って、私たちは同じ兄弟姉妹です。ここでは、あくまで私がどう理解しているかをお分かちするのです。

多くの人々はこう言います。——カトリック教会は、ペテロを基礎として教会が建てられたと教えています。またある人々は、「小石」と呼ばれるペテロその人の上に教会が建てられたと考えます。そして別の人々は、キリストご自身を指して「この岩の上に教会が建てられる」と解釈します。

しかし私は、友として申し上げますが、どちらの考えにも同意しません。私が信じるのは——主がここで言われたのは、「神から与えられた霊的な啓示」の上に教会を建てる、ということです。主ご自身がこう言われました——「これは血肉があなたに示したのではなく、わたしの天の父が示されたのだ」と。つまり、「神から霊によって明らかにされた真理」こそが、教会の基盤であり、「陰府の門もこれに打ち勝つことはできない」と主が約束された土台なのです。

23 では最初の始まりに立ち返ってみましょう。エデンの園から追放され、子どもたちが生まれた後のことです。カインとアベル——二人の息子たちは、自分たちが死すべき者であり、蠟燭のように少しずつ燃え尽きて、やがては土に帰り、創り主のもとへ戻らなければならないことを悟りました。ですから二人は共に、神の御前に恵みを求めて礼拝をささげようとしたのです。

ここで一つ、大切な点を挟んでおきたいと思います。それを理解していただくことは非常に重要だからです。私はこう考えます——すべての人は、どこかの教会に所属すべきです。それは私たちの務めです。教会に属すべきなのです。けれども、ただ「教会に属している」というだけでは、事は足りないのです。

私は、誰もが礼拝すべきだと思います。心をつにし、清い心をもって主イエス・キリストを礼拝すべきです。しかし、それだけでも十分ではありません。私は、すべての人が神への信仰を持つべきだと信じています。神を第一とする支配的な信仰です。けれども、それでもまだ足りないのです。

なぜなら、もし「教会に行くこと」「教会に属すること」「十分の一を捧げること」「神を礼拝すること」——

つまり、今日「宗教」と呼ばれているあらゆる行いが救いとなるのなら、神がカインを退けられたのは不公平になってしまうからです。なぜなら、カインはそれらをすべて行ったからです。

24 カインは不信仰者ではありませんでした。カインは信じる者でした。彼は「神なんて存在しない」と言って来たものではありません。カインは「信じる者」として、神の御前に出て来たのです。彼は神から恵みを受けたいと願っていました。

そしてカインは祭壇を築きました。祭壇とは教会、礼拝の場です。彼は祭壇を築いただけでなく、捧げ物を持ってきて、犠牲をささげました。それだけではありません。彼は主を礼拝したのです。——分かりますか？

つまり、人は教会に属することもできるし、祭壇に来て祈ることもできるし、務めとして十分の一を納めることもできる。霊的な犠牲をささげ、ひざまずき、神への信仰を告白することもできる。——それでも、なお失われてしまうことがあるのです。

ですから、最初に立ち返らなければなりません。正しい道に入ることです。そうすれば、正しい道を走り続けることができるのです。

さて、ここには二つのことがあります……。たぶん日曜日の午後、もし主が許してくだされば、その時に「真のぶどうの木」と「偽りのぶどうの木」についてもっと深く語る事ができるでしょう。

しかし今、アベルを見てみましょう。——では、ここに大きな問いがあります。「ある人が礼拝をする。ある人が犠牲をささげる。ある人がすべてのことを行う。それなのに、なぜ神はその人を受け入れられないのか？」

25 私はこう信じています——カインは決して「ひねくれた心」で、畑の実りを自分の手で収穫し、それを持って来たものではありません。彼は「神を試してやろう」と思ってそうしたのではないのです。むしろカインは、真剣な心をもって「正しいことをしている」と思いながら、それをささげたのです。

なぜカインは神の恵みを求めたのでしょうか？ 彼は「いのち」を探していたのです。再びエデンの園に戻ろうとしていたのです。ケルビムが守っている「いのちの木」のところへ、再び帰ろうとしていたのです。

私は想像します——彼らは園の東側へ行ったのでしょう。そこにはケルビムが剣を持って立ち、いのちの木を守っていました。カインはそこへ戻ろうとしたのです。魂の行き先が永遠をかけて問われている時、人は「形式だけの教会ごっこ」をするわけではありません。心から礼拝をしようとするのです。

カインは心の底からこう言ったのです——「私は神を信じる。だから神の恵みを求めてここに来た」と。

そして彼は畑から自ら育てた実りを持って来て、それを祭壇に並べました。おそらくその周りに大きなカラーの花や、美しい花々を飾ったことでしょう。そして彼は一步下がり、ひざまずき、両手を高く挙げ、自分の過ちを告白し、エホバを礼拝しました。

——しかしエホバは首を振られ、「ノー」と言われたのです。

26 そこにアベルがやって来ました。彼の手には何の美しいものもありません。ただ一匹の小羊を、首にぶどうのつるを巻きつけて引いてきたのです。当時は麻縄などありませんでしたから、きつとぶどうのつるを代わりに使ったのでしょう。その小羊は引かれるのを嫌がって踏ん張りましたが、アベルはそれを抱き上げ、祭壇の岩の上に置きました。

まだナイフもなかった時代ですから、彼はおそらく火打石か何かを手にし、その小さな頭を後ろへ引き、喉を切ったのでしょう。頸動脈を断たれた小羊はもがき、血がほとぼりました。アベルはその上に手を置きながら、小羊のいのちが尽きるのを見守りました。

その時、神は天からご覧になり、「それでよい。これが正しい」と言われたのです。

27 さて、あの少年(アベル)がどうしてあのような捧げ物をする事ができ、それが正しい供え物だと知ることができたのでしょうか？ それはただひとつ、神からの霊的な啓示があったからに違いありません。その通りです。昔から変わらず、「霊によって示される真理」こそが基盤なのです。神はその憐れみによって、聖霊の働きを通し、霊的な真理——すなわち御言葉そのものを私たちに明らかにしてくださいませ。

もしそれを単なる教育的な視点から読むなら、数学の問題を解こうとするようなものです。ただの本で終わってしまいます。けれども、一度キリストを心に迎え入れた後に御言葉を読むなら、それはまったく新しい書物になるのです。それは神がご自分の愛をあなたに語りかけてくださる「ラブストーリー」となるのです。霊的に啓示されるのです。

神の教会とは、まさに主イエス・キリストの霊的啓示に他なりません。そしてそれは、人の意思や努力によって受け取れるものではありません。イエス様はこう言われました——「父がまず引き寄せなければ、誰もわたしのもとに来ることはできない」と。そうですね？　ですから最初から、それは聖霊の働きなのです。

そして、その聖霊に引き寄せられて人が神のもとに来る時、イエス様はこう約束されました——「わたしは決してその人を捨てない。永遠のいのちを与え、終わりの日によみがえらせる」と。

なんと美しい希望が、教会に与えられていることでしょう！

28 さて皆さん、私が今お伝えしたいのは、とても単純なことなのです。私は教師ではありません。学問的には無学な者です。けれども、これだけは確かな真理だと知っています。そしてそれは、私自身の人生においても働きましたし、何百万もの人々の人生においても働きました。そして、あなたの人生においても必ず働くのです。

もしあなたが、すべてのものから自分を切り離し、ただ御言葉そのものに立つことができるなら、そこに堅固な基盤を築くことができます。揺るぐことのない、動かされることのない、いつも主の働きに満ち溢れた信仰生活を送ることができるのです。あちらこちらの祈りの列に振り回されたり、あちこちを走り回ったりする必要はなくなるのです。あなたは安定するのです。

「主よ、私は信じます。あなたがそう言われたからです。それで決まりです。」

——そう宣言することができます。地獄のあらゆる悪霊が襲って来ても、その信仰を揺るがすことはできません。あなたは確信しているのです。

一度でも神がそれをあなたに霊的に啓示し、心に据えてくださったなら——すなわち、イエス・キリストがカルバリであなたのために死なれ、あなたを癒されたのだと悟ったなら——その時点で、あなたは癒されているのです。アーメン。祈りの列に並ぶ必要さえありません。すでに、あなたは癒されているのです。

29 かつてのように、聖霊の働きによって、神はイエス・キリストがあなたの代わりに死に、それがあなたの心の扉をノックしていることをあなたに明らかにします。その小さな心の中で何かが起こり、それは終わりました。信じますか？

私たちは祭壇の呼びかけをして、祭壇の周りに人々を連れてきます。それは教会の良い伝統ですが、聖書の時代には、「主を信じる者と同じくらい多くの人が...」、主がどこにいても主を受け入れました。信じられている限り多くの人が救われました。

彼らには祭壇の呼びかけはありませんでした。それは最初にメソジストで始まりました...初期のメソジスト教会の周りで、祭壇に来ました。それは良いことです。私たちは決してそれを手放すべきではありません。それを続けてください。それは良いことだと思います。そこに出て、神の前にあなたの心を注いでください。それがその方法です。しかし、実際には、それはあなたを救うものではありません。

あなたはそこに祭壇にとどまり、一晩中祈り、泣き、祭壇を上下に歩くことができます。あなたはできる限りの苦行をすることができます。あなたはあなたが得たすべてを売って貧しい人々に与えることができました。あなたは40日間断食を続けることができ、あなたがただ歩くことができなくなるまで断食からとても疲れ果ててしまうかもしれません、最初にあなたが受け入れるまで、それはあなたに何の役にも立たないでしょう。それだけです。それはあなたの一部です。神は彼の役割を果たしました。今、あなたは自分の役割を果たします。それを信じるという単純なことです。そして、あなたがそれを信じる時、それはそれを永遠に解決します。

30 今、あなたはそれを精神的に信じることができます、そしてあなたはまだそれを推測するでしょう。しかし、一度心から信じると、それは永遠に落ち着きます。もし神が今夜あなたにあなたが元気になるだろうと明かされたなら、もし明日千人の医者が訪れて通りかかって、彼ら全員があなたを発音したなら、あなたは24時間で死ぬだろうとあなたは笑うでしょう彼らの顔に。そうです。アーメン。

それがキリストが彼の教会を建てる場所です。「この岩の上に私の教会を建てます。」

さて、もしあなたが感情だけで救われ、哀れな話のために救われたとしたら、隣人があなたに来て欲しいと思って救われたなら、キリストに心を捧げて教会に行ってください。そして誰かがあなたを望んでいたのあなたを救われました、そして私はそれを疑っています。しかし、もしあなたが賢明に、冷静に、主イエス・キリストの流された血に基づいて来て、あなたが彼をあなたの個人的な救い主として受け入れたなら、地獄から出たすべての悪魔はあなたをそれから振り払うことができませんでした。そうです。そうです。

31 アベルが犠牲を捧げたとき、それはもちろん、アベルが持っていた霊的な啓示、主イエスの到来について話していたことに注目してください。そして、そこにあるその小さな子羊、私はあなたに気づいて欲しいのです...彼がそこに小さな仲間を置き、その小さな喉を切り刻み、それが蹴られて出血し、そしてそれは小さな白い羊毛が血でいっぱいになり、出血しています...

子羊が死ぬのを聞いたことがありますか？とても哀れです。それは何でしたか？彼は確かにそれが何を言っているのか理解できませんでした。それは私たちの主イエス・キリストについて話していました：私たちの罪のために負傷し、私たちの不義のために傷つけられ、震え、出血し、死に、彼が行ったときに十字架で舌で話し、時代の岩にぶら下がって、血が彼のいたるところに浸っていました。

ビリー・サンデーは、すべての木に天使が座って言った、「主よ、あなたの手を緩めて私たちを指さしてください。この状況を変えます。」

ユダヤ人は、「彼は他人を救った、彼自身は救うことができない」と言いました。「降りてきて、私たちの前で奇跡を起こしてください。そうすれば私たちはあなたを信じます。」その同じ古い悪魔が今日生きています。「降りてきてください、そうすれば私たちはあなたを信じます。」彼らは、これまでに彼に支払われた最大の褒め言葉を彼に支払っていることに気づいていませんでした。もし彼が彼自身を救ったなら、彼は他人を救うことができませんでした。それで彼は他人を救うために彼自身を与えました。彼がこれまでに受けた最大の褒め言葉であり、彼らはそれを知りませんでした。神は敵に彼をほめたたえさせます。アーメン。神の言葉の霊的な啓示を見るのはなんて美しいことでしょう。

32 ヨブ、私たちは数日前に彼について話しました。聖書の中で最も古い本である家長ヨブは、彼の忍耐力と忍耐力で有名です。「最後まで耐え忍ぶ者……」ヨブはその忍耐力で有名で、反対に立ち向かい、隣人がやって来てこう言いました。「ほら、あなたは病気になりました。今、あなたはひそかに罪を犯しています。」

ヨブは言いました、「いいえ、私はしていません。私はすべての罪を告白し、全焼のいけにえをしました、そして私はひそかに罪を犯していません。」

「ああ、はい、あります。あなたは密かに罪を犯しました。」

しかし、神はそこで聖人を扱っていました。「神に来るすべての息子は、最初に子育てされ、少しスパンキングされ、物事を逆行させなければなりません。あなたはそれを持っていますか？それらに耐えられないのは非合法の子供であり、神の子供ではありません。」

イエスが義のために立てられたことを知っていて、血とみことばに基づいてそれを受け入れた人が心の中でそれを見たなら、彼に試練をかけます。「キリスト・イエスにある神の愛から私たちを切り離すことはできません。」アーメン。「彼が呼ばれた人々、彼は正当化されました。彼が正当化したもの、彼はすでに栄光を与えられました。」そして、神の御前で、あなたがキリストをあなたの救い主として受け入れるとき、結婚式の晩餐にあなたのために置かれた椅子があります。アーメン。私はそれが好きです。結婚式の夕食時にテーブルの下に足を突き刺し、子羊のアーメンと一緒に夕食を食べます。

33 さて、ヨブ、そして彼は話している……彼はすべて彼の神学の中にいた……羊の血は彼を満足させるのに十分ではなく、彼にそれを明らかにすることができなかった。神は彼に背を向けていました。彼は沸騰したものをこすりながらそこに座っていました。ああ、すべてがなくなった。ヨブはそれを理解できませんでした。彼は言った、「私は神が不当ではないことを知っていますが、なぜ私はこのようになっているのですか？」そしてサタンは彼に神を呪わせるために彼にすべてを突っつけた。ヨブはそれを知りませんでした、それでも彼の信仰は持ちこたえました。

そしてしばらくして、メッセンジャー、エリフが来て、彼に話し始めたとき、彼はこれらの言葉を話しまし

た:「私は私の贖い主が活着していることを知っています。」それは何でしたか? 靈的な啓示が彼にやって来ます。「私は私の贖い主が活着していることを知っています、そして最後の日に彼は地上に立つでしょう。皮膚の虫がこの体を破壊しますが、それでも私の肉の中で私は神を見るでしょう。」主イエス・キリストの到来の靈的な啓示。アーメン。

34 それは神が毎回彼の教会を建てられた場所です。彼がそれを建てることのできる唯一の場所は、靈的に明らかにされた神の真理の上にあります。ヨブはそれを持っていました。

私はあなたに気づいてほしい:神の意志の靈的に明らかにされた真実を持っているすべての人は、成就のための準備をします。私はそれが今夜ずっと深く、左側の5番目の肋骨のずっと下に行くことを願っています。

神があなたを癒そうとしていることがあなたに明らかにされた場合、あなたはただその準備をしていることに注意してください。それだけです。アーメン。靈的に明らかにされた真実...ヨブは神が何かをすることを知っていました。彼は贖い主を送るつもりでした。注意してください、少しの間それを見てみましょう。

35 ヨブ、いつかそれを知って……彼は少し古い種子が腐るのを見ました。彼は言いました、「私は種が地面に落ちるのを見ます。花は精神をあきらめ、地面に落ちます。冬が来て、凍って、小さな種子を腐らせてしまいます。しかし、春になると再び復活します。」

彼は言いました。「風が来て木を吹き飛ばし、それを取り去ります。しかし、地面に切り株があります。それは出てきて芽を出し、別の木をもたらします。しかし、人は横になり、そうです、幽霊をあきらめます。彼は無駄にしています。彼の息子たちは嘆きに来ます。彼はそれを認識していませんそして....」ああ、彼は二度と戻ってこない。どうしたの? 「ああ、あなたは私を墓に留めておき、あなたの怒りが通り過ぎるまで私を秘密の場所に隠し、それから……」と言いました。ほら、彼はそれをすべて推論していましたが、私的な知識、感覚の推論。

それから突然、神はすべての正義の人に、神が病気から逃れるために提供された方法で来た人に、ヨブは彼の病気から逃げようとしていました。それから彼は自分が死ぬことを知っていました。彼は言いました、「さて、もし私がほこりの中に入ると、私はどうやってそこから来るのですか。私は誰かが出てくるのを見たことはありません。私はすべての種とすべてが地球に入るのを見ます、すべてのタイプ。」(彼は類型学者でした。)
「彼は言いました、「しかし、人は横になりました、そして彼はどこにいますか?」そして神はそれを明らかにする義務があります。

それで、聖書なしで、神はヨブに神の御子の到来の啓示を与えました。それからヨブが立ち上がって稲妻が点滅したとき、雷が鳴り響きました、彼は最後の日に彼の贖い主に会うと言いました。

36 注目してください、彼もそのための準備をしました。それでは、行間を少し読んでみましょう。よろしいですか? 「アーメン」と言います。行間を見てみましょう。

ヨブ、彼が自分の埋葬場所がどこにあるかをどのように指定したかを見てください。他の多くの預言者がやって来ました。たとえば、聖書の恋人であるアブラハム、サラを取り上げます。そして、サラを愛してアブラハムがやって来たとき、彼女が死んだとき、彼は彼女をどこにも埋めませんでした。彼はヨブが持っていたのと同じことで、何かの靈的な啓示を持っていました。

それで彼はヨブが埋葬された墓の近くに行き、パレスチナの土地を購入し、そこにサラを埋葬しました。彼はそれを彼に与えられたとは思わなかった。彼は非常に多くの銀のシエケルを与えて、彼が埋葬場所のためにこれを買ったという証言をしました。アーメン。何かの準備をしています。わかりますか? 彼はサラをそこに埋めました。

そして数年後、アブラハムが死んだとき、彼は行ってサラと一緒に埋葬されました。アブラハムはアイザックを生んだ。そして、アイザックが死んだとき、彼はアブラハムと一緒に埋葬されました。アイザックはヤコブを生み、ヤコブはエジプトで、国を離れ、約束の地を離れて亡くなりました。

しかし、彼は靈的な人を思い出しました。彼は、「ここに来なさい、私の息子ヨセフ」と言いました一預言者ヨセフ。彼は言いました、「私の太ももに手を置いてください。ある夜、聖霊と格闘し、彼は私を不自由にしました、そしてそれ以来私は違った歩き方をしました。」「聖霊が手を置いたここに手を置いて、アブラハムの神が私をここに埋めないようにと誓ってください。」と言いました。

なぜだろうか？ 彼が埋葬された場所にどのような違いがありますか？ 彼は預言者でした。彼には霊的な啓示がありました。「ここに私を埋めないでください。しかし、私が去ったらすぐに、私は私の人々と一緒に集まります。私を約束の地に連れ戻し、そこに埋めてください。」

ヨセフは「誓います」と言いました。それで、彼が父親のイサクを連れて行き、式典の後で彼をそこに埋めたとき、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨブと一緒に、当時のすべての家長、そしてヨセフ、彼が年をとったとき、そしてそれが彼が死ぬ時が来て、彼は霊的な啓示を受けました。彼は言いました、「私をここエジプトに埋めるのではなく、ただ箱に入れてください。いつの日か、主があなたを訪ねてくださいます。そして、あなたが外に出るとき、私の骨をあなたと一緒に持って行き、約束の地に埋めてください。」なぜだろうか？

37 ヨセフが立っているしるしとしてイスラエルにしたのと同じように、キリストは今日の教会にあります。すべての貧しいイスラエル人は、タスクマスターの下で、背中に殴られた縞模様を持って、その古い鉛の棺のそばを歩いていました。(私はここ、数年前、博物館で、ヨセフがエジプトで鉛で作った棺桶に手を置くことになっていた。)

そしてそこで、この有鉛の棺の中に、預言者の骨が、通りかかったすべてのイスラエル人が見渡して言いました。「いつか私たちは出かけます。預言者はそう言っています。そしていつの日か、それらの骨は他の土地に詰め込まれ、私たちは彼らと一緒に故郷に行きます。」

そして、それは今日のすべてのクリスチャンの希望です。ヨセフは墓に横たわるタイプだったので、キリストは墓から出るタイプ、つまり復活です。分かりますか？

38 妻を亡くした後のことを覚えています。ビリー、そのようなちよっとちっぽけな人……私は彼にとって一種のパパとママの両方でした。夜間に歩きました。私たちは貧しかった。私たちが住んでいた古い部屋が1つだけありました。私はラインマンとして働いていて、請求書などを支払い、私たちが食事をしようとしている間、昼間は小さな仲間を近所の人に連れて行きました。

私は一晩中火を使う余裕がなかったので、彼の小さなコココーラのボトルを持っていきました。彼は他の人を壊し、彼らを落とすでしょう。私はそれらの衛生ボトルを買う余裕がなかったので、私は彼にコココーラボトルを手に入れ、その上に小さなキャップをかぶせました。そして、夜はそれを頭の下に置き、体に当てます。そして、私の体の熱が彼のボトルを暖かく保つでしょう、そして彼が夜に起き上がって泣きに行くとき、私は彼の口にボトルを突き刺しました。彼は温かい牛乳を飲んでいました。昼間は、外出時に腕の下、コートの上に持っていきました。私たちは仲間でした。

39 彼女が去った後のある晩、彼の妹が生まれる直前に、彼女は窒息していたことを覚えておいてください。私は彼女を連れて行って行っていました……そこにある古いオークの木のそばを行ったり来たりしていたものです。それを決して忘れないでください……家に入ってください、彼女はかろうじて呼吸していました、ほとんど、彼女はとてもひどく窒息していました。

彼女が亡くなってから約1年後、私はそれをほとんど乗り越えることができませんでした。私はビリーを腕に抱えていました、そして彼は彼のママのために泣いていました、そして彼には行くべきママがいませんでした。私は裏庭を通る同じ小さな小道を行ったり来たり歩いていました、そして彼は「パパ、私の母はどこですか？」と言いました。そして私は「ハニー、彼女は天国に上がった」と言い、彼が泣かないようにそれを絞ってみました。

そして彼は、「また彼女に会えますか？」と言いました。

私は「はい、恋人、また彼女に会います」と言って、そのように彼を撫でました。

そして、彼は私の肩に小さな頭を抱えていて、彼は再び小さな頭をうなずいて、「パパ、パパ！」と言いました。

私は「なに、ハニー？」と言いました。

「あの雲のすぐ上にママが見えます」と言いました。

ああ、私の。私を殺したい。それは何でしたか？ 多分神様、わかりません。言えない。しかしとにかく……

40 ある日、あるイースターの朝、私たちは小さなイースターの花を持って墓に行きました。そして、彼の妹と母...姉妹、彼の母の腕に横たわっていました...私たちは彼女をそこに埋めました。

牧師が私を見て、スミス兄弟が見渡して、涙が頬を伝って流れ落ちた日のことを覚えています。彼は土の塊を拾い上げ、「灰から灰へ、そしてほこりからほこりへ...」と言い、それらがその棺に跳ね返るのを聞いた。

私は思った、私の...そしてその頃、風が古い松の木を吹き抜けて、「川の向こうに土地があります...私たちは信仰の命令によってのみその海岸に到達します。」と言っているようでした。一つ一つポータルを手に入れ、不滅の者と一緒に住むためにそこにいます。いつか彼らはあなたと私のためにそれらの黄金の鐘を鳴らすでしょう。」

41 私は墓に降りていました。彼は手に小さな花の鉢を持っていました。それは休憩の日についてでした。そして、墓に近づくと帽子を脱ぎました。小さな仲間は泣き始めました。私は彼に腕をまわした。彼は言いました、「パパ、ママはそこにいますか？彼女をちょっと掘り下げて話してもらえますか？そして、私の妹、シャロン、そこに……」

私は「花を置いてみよう、ハニー」と言いました。私は花を置き、腕を彼の周りに置きました、私は言いました、「ハニー、男の子、地上の旅の残骸はそこにありますが、海を越えて、太陽が昇る方向に、今朝は空の墓があります。彼らは彼の中にいました。ある輝かしい日、また会えるでしょう。」彼を私の胸まで引き上げて祈った。なぜですか？向こうに空の墓があり、いつかまた彼女に会うと言っています。いつかまた会う予定です。

42 私、それらの古いヘブライ人がどのようにその棺を調べ、それらの骨を見て、いつか彼らがそこから出て行くことを知っているのです。それからモーセはイスラエルの子供たちを約束の地に連れ戻すために来たとき、ヨセフの骨を集めて彼の前に連れて行き、パレスチナに連れ戻し、パレスチナに葬りました。なんでだろう？霊的な啓示。

ほら、それらの預言者たちは、復活の最初の実がエジプトからではなく、パレスチナから来ることを知っていました：パレスチナ！復活はエジプトに来ていませんでした。それはパレスチナに来ていました。それが彼らがパレスチナに埋葬されたかった理由です。そして、それが今夜私が「イエスに私を埋めなさい」と言う理由です。イエスの中にいる人々のために、神は次の時に彼と一緒に連れて来られますか。世界がそれについて何と言おうと、私を死なせてキリストに葬らせてください。ハレルヤ！霊的な啓示....

43 私がキリストに埋もれている限り、私を聖なるローラー、狂信者、あなたが望むものと呼んでください。私たちの人生はキリストを通して神に隠され、聖霊によって封印されています。それで解決します。ああ、それに入るために押してください。私たち一人一人の前に、大きな暗い部屋があります。私の心臓が鼓動するたびに、私たちはそれに1拍ずつ近づいています。最近のある日、私たちは入らなければなりません。

そして、道の終わりに来たとき、臆病者のように行きたくありません。私は彼の義のローブに身を包み、これを受け入れたいと思います。私は彼の復活の力で彼を知っていることを知っており、彼が再び来るとき、彼は死者の中から私を呼ぶでしょう。

それがすべての信者の希望です。それだけです、「彼の復活の力で彼を知っている」とパウロは言いました、「彼が呼ぶとき、私は死者の中から出てくるでしょう」。キリストに埋葬され、世に死んで、キリストの中で生き、上にあるもの、天の物を探し、キリストが威厳の右側に座り、私たちの告白にとりなしをするために生き、私たちは信仰を持って前進し、征服します。分かりますか？霊的な啓示。

44 私は、その預言者が、それが起こる4000年前に、その復活をどのように予見していたかを考えています。彼らが失望しているかどうか、霊的に明らかにされた真理を信じて神を信じているかどうかを見てみましょう。

イエスは、処女から生まれ、安定した扉の邪魔をして、資本の罰を受けて出て行きました。その日、彼がゴルゴタのカルバリーで十字架にかけられて死んだとき、天はその光を放ち、地球は震え揺れました。そして、イエスが死んだとき、全世界はそれが神の御子の死であると認識しました。

45 ここで少し前に、読者のダイジェストを読んでいる読者の皆さん...私は説教者から非常に多くのメッセージを受け取りました。牧師たちが理解できないのは残念です。彼らは、ペッパ嬢がその素晴らしい媒体であるとき、彼女に約12ページを与えるとしました。そして彼らはそこに手紙を書き、過去40年か50年の

間彼女を試したと言いました。ある日、小さな年老いた主婦がトランス状態に陥り、死者と話しました。

読者のダイジェスト、私は10月、約2年か3年前、それはどのように...私たちはどこかにそれを持っていると信じています。持っていません。バクスター兄弟は当時それを持っていたと思います。そして、彼らがどのように彼女を連れて行き、彼女の服を着替え、彼女をエジプトかどこかに送り、フランス人を降ろして特定の人を呼び(偽装して)、そして彼女は死んだ人を引き上げて同じ声を話しましたそして、すべて、死んだ人がした、それは続いた。

それで彼らは言いました、「それは本当に……偽物がたくさんあり、媒体やスピリチュアリストの偽りの信念がたくさんありますが、彼らが動揺させることができなかったものがあります。」

誰かが私に「あなたはそれを信じますか?」と言いました。

はい、聖書はそのようなことがあると教えています。エンドルの魔女。それは悪魔です。そうです。しかし、彼女には多くのなりすましがいます。

46 少し前に、彼らは警察の法廷で証明しました。そこでは、都市の偉大な裁判官が会議で彼の幽霊のような母親の手に触れたはずでした。そして、翌朝、それはチーズクロスを使った偽物に他ならないことが証明されました。しかし、彼は彼女の手には触れませんでした。しかし、それは何ですか? それは、その本当のスピリチュアリストになりすまそうとする、金儲けの計画です。そして、もし彼らがそれをその側に持っているなら、私たちはそれをこちら側にも持っていて、本当のクリスチャンになりすまそうとしています。アーメン。

注目してください。そのとき、約1年後、カリフォルニアでのキャンプ場での私の会議のリーダーズダイジェストを読んで、彼らがその小さなドニーマーティンを連れてきたのです。あなた方の多くがそれを読んだことは間違いありません。ドニー・マーティンから、奇跡は、彼らが彼をカナダから連れ出したとき、彼がどのようにプラットホームに来たのか、小さな仲間、すべての状態が狂っていたという素晴らしい記事を書いています。

そして、どのように、伝道者は決して一つの質問をすることなく、子供をまっすぐに見て、彼がどこから来たのか、彼がどのようにメイヨーブラザーズに行ったのか、そしてすべてを断ったのかを彼に話しました。そして、まさに子供の結果がどうなるか。そして、それはまさに一言一句でした。

47 それで、ここに説教者が来て、手紙を送りました、「ブラナム兄弟、私はいつも一種の疑いを持っていました。私は今、あなたはスピリチュアリストだと信じています。」それ以上のことを知らない神の人。私はただ手紙を書き、通常の円形の手紙を書いて、こう言いました。なぜ、イエスがここにいたとき、それは同じことだったのですか?」その通りです。彼らは理解していません。なりすまし、悪魔が持っているすべてのもの、彼はそれをキリストからコピーしました。それは本物をより良くするだけです。

ほら、偽のドルを手に入れたら、どこかに本物のドルがあることを示しています。さて、もしあなたが偽のドルを手に入れたらどうしますか? まず、それを手に取ってその価値を感じます。実際のドルは紙と一緒に作られるわけではありません。それはやっかいなことです。本物のドルは普通の紙では作られていません。その価値を感じてください。

48 さて、彼女がしたこと、そして聖霊が集会で何をするかを考えてみましょう。それから彼女がしたこと、彼女はほぼ50年の奉仕をしており、神がこれまでに言及されたり、キリストが言及されたり、癒しが言及されたり、救いが言及されたり、永遠の罰が言及されたりしたことは一度もありません、そしてそれはすべてある種のトミロトに関するものです、何人かの死んだ人が何年も前に他の誰かと彼らが行った場所や物事と一緒に住んでいたこと。まったく価値がないわけではありません。それが偽物であったことを示しています。

もう1つのことは、ドルで行うのに最適なことです。ドルから文字と数字を取り除き、造幣局に送り返して、造幣局でそれに対応するものがあるかどうかを調べます。そうですか? まあ、それはそれを行う方法です。聖書を取り、どれがどれであるかを見つけてください。ミントはそれが何であるかを証明します。そうですか? アーメン。

ああ、どのように...これが何であるか、友よ、あなたが私にちよつとした時間を与えて、私が...私のために祈るのを手伝ってくれるなら、私は言いません、「私は「お見せします……」それはできません。私はその方法を説明することしかできません。神はそれをあなたに示さなければなりません。

49 たとえば、このような行があります。そして、ここにはすべての人間がいます。こちら側、またはその側で

は、男性は一方の影響を受けています。こちら側は神から来ています。こちら側は悪魔から来ています。

さて、それを黒さ、華やかさ、泥、罪、そしてこの世界の分裂性の大きな集合体としましょう。時々、小さな白い斑点が見られます。それは光のようなクリスチャンです。今、暗闇にいる人々は下から影響を受けています。光であるものは上からの影響を受けています。さて、これらのチャネルのいずれかを離れると、霊の領域に入ります。これが人間の領域であり、私たちが住んでいる次元です。

さて、あなたがこのように行けば……よく聞いてください。このようにすると、最初の次元は死者の霊です。ペテロはそれについて話しました:「刑務所で、それはノアの時代の長い苦しみによってではなく悔い改めました。」邪悪な再生されていない男は、彼が死ぬと、彼の精神はこの領域に入ります。

その下の次の領域は悪魔です。その下の次の領域は地獄です。私はあなたがそれを見ることができるようあなたに寓話を与えています。

50 さて、その女性はどうなりましたか？ 彼女はその領域に侵入し、罪と不法侵入で絶対に死んでいる人々に、そして彼らが知っているのはそれだけです、それは木が傾く方法、それが倒れる方法です。そしてそこで彼女はその領域に侵入し、死者の霊と話しました。

さて、このように行くと、最初に死んで再び立ち上がった人、キリスト、聖霊の霊です。それが信者に影響を与え、上に行くのです。

次は天使のような存在です。次は天国そのもの、第三の天国です。アーメン。ああ、私の。輝かしい何かが見えます。

イエスが私たちの罪の償いのためにカルバリーの向こうで死んだとき、彼はただの人ではなく、彼自身の罪人ではなく、私とあなたの罪が彼を失われた地域に送りました。そして、彼がカルバリーの向こうで死んで、悪党の間にぶら下がって、「私の神よ、なぜあなたは私を見捨てたのですか？」と叫んだとき、私は彼を見ることができます。そして、彼が幽霊をあきらめて頭を下げたとき、彼の霊は行き、刑務所にいた霊に説教しました、それはノアの長い苦しみの中で悔い改めませんでした。聖書はそう言っています。

51 私は彼が失われた地域のドアに上って行くのを見ることができます。[ブラナム兄弟がノックします。]そして彼はドアを開けました。彼らは叫び、嘆き始めます、悔い改めなかった魂は、彼は言いました、「あなたはエノクを持っています、私はエノクが霊的な啓示を持っていた彼です。私は古代の世界の前に説教された彼です。「主は一万人の聖徒と共に降りるでしょう。」私は処女生まれの神の子です。そして、私は失われたものを償還するためにカルバリーで亡くなりました。なぜ全焼のいけにえの下でエノクのメッセージを受け入れなかったのですか？」

そして、ドアはしだれと遠吠えと歯ぎしりで閉じられました。道を行くと、悪魔たち....彼は地獄の扉にたどり着き[ブラナム兄弟がノック]、ドアをノックしました。悪魔はドアを開けて言いました、「まあ、あなたはついに到着しましたね？」「アベルを殺したとき、あなたがいると思っていました。ヘブライ人の子供たちを火の炉に投げ入れたとき、私はあなたがいると思っていました。ジョンに頭を下げたとき、私はあなたがいたことを確信していました。しかし、結局のところ、あなたは到着しました。」

52 私は彼が言うのを聞くことができます。「サタン、私はただ鍵を取り、それを天国の使徒ペテロに渡しました。しかし、私は死と地獄の鍵を手に入れるために降りてきました、そしてあなたはそれらをあきらめるつもりです。」

私は彼が向こうに手を伸ばすのを見ることができます、と彼は言いました。罪の命題があるのを覚えていますね。私はイブに罪を犯させました。」

しかし、彼は言いました、「ちょっと待ってください。私は処女生まれの神の子です。代金は支払われました。私の血はまだカルバリーの十字架で濡れています。もう人々をブラフすることはできません。私が引き継ぐようになりました。」アーメン。彼が向こうに手を伸ばして鍵を彼の側から引き離し、彼自身の側にそれらを掛けるのを見てください。日光に近づいて、彼は戻ってきます。そして彼はただ立ち上がるのです。

53 覚えておいてください、啓示を受けた人がもっています。ヨブ、アブラハム、アイザック、ヤコブ、雄牛と山羊の血が罪を取り除くことができなかつたので、楽園にいるすべての人は彼の威厳の前に入ることができませんでした。それはそれをカバーするだけでした。しかし今、彼らは行くことができます。真の犠牲、生ける神の非常に支配的な息子、朝の息子が来て死に、神の血、彼自身が代償を払っていました。ハレルヤ！ あ

あ、私は宗教的だと感じています。

通知してください。彼がドアをノックしているのが見えます。アブラハムとサラはそこに座って、ヨブと彼ら全員が、「ご存知のように、私は地球上で何かが少し前に起こったと信じています」と言いました。彼がドアをノックするのが聞こえ、彼らはドアを開けます。アブラハムは言いました、「サラ、ここに見える。ここに彼はいます。これが、世界の基礎から殺された子羊です。」

ダニエルが外を見てこう言うのが聞こえます。「ちょっと待って。それは私が手なしで山から切り出されたのを見た石です。」

エゼキエルが「彼が来たとき、彼の足元に雲のように見えた」と言うのが聞こえます。

ヨブが「私の贖い主が生きていて、そこに立っているのを知っています」と言ったのを聞くことができます。ハレルヤ!

54 家長と預言者が彼に答えます。私は彼が言うのを聞くことができます。「子供たち、準備をなさい。あなたは誠実に死にました。あなたは神の与えられた道に來ます。そして、私は今道を開いた。あなたは不滅の遺体を受け取るために戻ってきます。ほんの数分でそれは日光になるでしょう、そして私たちは地球に現れなければなりません。」

アブラハムが言うのを聞くことができます。「マスター、少し笛を止めてもいいですか？ 旧市街を見渡して、どのように見えるかを確認したいと思います。」

ダニエルは、「私はビジョンを見たところに行きたいです」と言います。

彼は言いました。私は数日間そこにいて、他の弟子たちと話し、神の国のことについて彼らに指示します。私は彼らに油を注がなければなりません、そして聖霊が來ます……福音を説教し、世界中の病人を癒すように彼らに言いなさい。」

日光が來ました。天使たちは石を転がしてしまいました。大きな不思議なことが起こりました。カイアファスが通りを歩いているのを見ることができます。「彼らが死からよみがえったその男について話している話を知っていますか？ 昨夜、彼が建物に入ってきて、弟子たちと話し合ったと彼らが言うのを聞いています。」

恋人のサラとアブラハムが、もう年をとることなく、腕を組んで通りを歩いているのが見えます。そして、私はアブラハムが「サラ、最愛の人、その古い場所を見てください、あなたはそれを覚えていますか？」と言うのを聞くことができます。

「ええ、覚えています。」「なぜ、セーラムの王であるメルキゼデクに会ったとき、すべての略奪品の代金を彼に支払ったのを覚えています。」

カイアファスは言いました、「その若いカップルは誰ですか？ 私はそれらを見たようです。」

「気をつけてください、サラ、私たちは注目されています。」キリストのように姿を消し、壁を通り抜けました。栄光の体。

40日後、彼は弟子たちをそこに引き寄せて祝福し、こう言いました。「全世界に行き、この福音を宣べ伝えなさい。また戻ってきます。私は常に世界の果てまであなたと一緒にいます。」

55 彼は旧約聖書の聖人たちを連れて立ち上がった。彼が月を越えて、星を越えて、太陽を越えて上って行くと、旧約聖書の聖徒たちが彼に従いました。聖書は、「彼は捕われの身を導き、人に贈り物を与えた」と言っています。私は彼が天使を越えて大天使が球に飛び込み、[不明確な言葉]が新しいエルサレムの光景に來るのを見ることができます。

ダビデの予言を知っている旧約聖書の聖徒たちが、「永遠の門を持ち上げ、持ち上げて栄光の王を迎え入れなさい」と言ったのを聞くことができます。

後ろにいる天使たちの声が聞こえます、「この栄光の王は誰ですか？」と。

旧約聖書は、「万軍の主よ、戦いにおいて強力です」と言っています。

天使がボタンを押しました。門が上がりました。イエスと旧約聖書の聖徒たちはエルサレムの街を歩

いて行きました。征服者、彼に続くすべての聖徒は王位に近づき、彼らを提示しました、「彼らはここにいます、父よ」と。彼は言った、「私がすべての敵をあなたの足台にするまで、私の王座に登り、ここで私の右手に座りなさい。」ハレルヤ!

56 霊的な啓示を持ち、神のことばを信じ、イエスが来ると信じている人々。彼は来ました。彼らは今日同じことを信じています、彼が再び来ると。

私たちは、イエス・キリストが昨日も今日もそして永遠に同じであるという霊的な啓示を受けました。彼の力は今ここにあります。彼の霊は今ここにあります。彼の癒しは今ここにあります。彼の救いは今ここにあります。私たちが必要としているものはすべて、今ここにあります。聖霊が今この建物の上を移動すると、すべての罪人を救い、すべての信者にバプテスマを施し、すべての病人を癒します。「この岩の上に私は私の教会を建てます、そして地獄の門はそれに打ち勝つことができません。」アーメン。

ああ、私の、私は説教したい気がします。ほら、時計が遠ざかっているのが見えます。大きな祈りの列を前もって手に入れました。しかし、ああ、あなたは神が人間の心に彼自身を明らかにし、主イエス・キリストの霊的な啓示を信じてはいけません。頭を下げながら祈りましょう。

57 私たちの天の父は、今日私たちが考えるように、その素晴らしい主イエスについて、世の罪を取り除くために、彼がどのようにして来られたか、血を流した犠牲として、神の小羊が来られました。それらの旧約聖書の聖徒たちが今どのように見ているのか。私たちがいなければ、彼らは完璧ではないので、彼らは神の言葉を信じることを私たちに依存しています。

聖書には、病人に手を置くと回復すると書かれていると思います。それは霊的に明らかにされた神の言葉の真実です。私はそれがインスピレーションを得ていると信じています。そして、私はそれらに基づいて同じようにそれを受け入れます。

父よ、私はあなたが今夜ここにいる病気で必要のあるすべての人を癒してくれるように祈ります。主よ、それを認めてください。今夜邪魔にならない、あなたを知らない、この希望を持っていないすべての人々を祝福してください。神の御子であるイエスが彼らを愛し、彼らが彼を受け入れて新たに生まれるだけで彼らを救うことは、まだ彼らに明らかにされていません。主よ、それを認めてください。

わがままな人、道に迷う人を手に入れてください、それでも、水によって分けられて、洗われるために来たことはありません...みことばによる水の洗浄。たぶん今夜、あなたの霊が神秘的な方法で彼に話しかけたことは、こう言いました。「弱さの子よ、今夜来なさい。来て救われてください。私は両手を広げて立ち、準備ができて、進んで、失われた人を救うのを待って、親切に不親切にします。」主よ、それを認めてください。私たちは主の御名によってそれを求めます。

58 そして、頭を下げている間、今夜、キリストの外の建物の中に誰かが手を挙げて、こう言うのではないかと思います。「どういうわけか、神様、今私の心の中に、主の物語を信じています。イエスは真実です。私は彼を受け入れるために手を挙げます。」神に手を挙げていただけませんか?

若い男、神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します、レディ。神はあなたを祝福します、先生。神はあなたを祝福します、そこに戻って、女性、スペインの女性。どこか別の場所で、「私は……」と言ってください。お嬢様、神はそこに戻ってあなたを祝福します。この隅にいる女性、お会いしましょう。神はあなたを祝福します、先生。老人が手を上げているのが見えます。神はあなたを祝福します、女性、私はあなたに会います、年配の女性。神はこの男、ここでは老人を手を上げて祝福します。神はあなたを祝福します、レディ、私はここであなたに会います。それは素晴らしいことです。右側のバルコニーに上がって、神はあなたを祝福します、先生。神はあなたを祝福します、お嬢さん。

右側に誰か他にいますか? 神はあなたを祝福します、先生。あなたの手が見えます。他の誰か、「私は今、主イエスを受け入れたいのです。」神はあなたを祝福します、男の子たち。私はあなたを見ることができます。若い男、神はあなたを祝福します。会いましょう。左、右のバルコニーに戻ると、一列に並んでいます。はい、神はずっとあなた、あなた、あなた、あなたを祝福します。

そっと優しく、イエス様が呼びかけています、

呼び出して、ああ.....

今、来ませんか? 神はあなたを祝福します、先生。他の誰か? 他の誰かがあなたの手を上げますか?

お嬢様、神はあなたを祝福します。会いましょう。若い男、神はあなたを祝福します。会いましょう。神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します、先生、そしてあなたの姉妹。あなたの手が見えます。

.....ああ、罪人、家に帰ってください。

神はあなた、ここの二人を祝福し、神はあなたの心を祝福します。

家に帰って、家に帰って。

あなたは何をしなければなりませんか？ 来て、信じて、受け入れてください。信じなさい。信仰によってあなたは救われます、それは恵みによって、だれもが自慢することがないように働くことによってではありません。来て、信じて、受け入れてください。あなたがしなければならないのは、手を挙げて「父よ、ただ私を覚えてください」と言うことだけです。彼はそれをします。

真剣に、優しく、イエス様.....

もし彼があなたの心に語りかけたら、すべてが祈りの中で「主よ、それは私です」と言って手を挙げてください。

来て.....

59 今夜、神の御霊があなたに終わりの時が近いことを明らかにしましたか？ 神はあなたを祝福します、兄弟、私はあなたの手を見る。終了時間はもうすぐです。科学の世界は、世界の終わりが見えていると言っています。何時なのか分からない。

ここにいてすべての人が、朝、街にヤシの木の小枝さえ残っていないことを知っていたらどうでしょうか。ここにあるこれらの大きな研究所のいくつかは、たまたまその原子の一部を解き放ち、世界中で悲鳴を上げ、ラジオは悲鳴を上げますが、それは遠すぎて、どこにでもほこりしか残っていません。あなたはもういなくなりました。

おそらく今夜から数千年、風が吹き、不毛の世界を吠え、あなたの墓石がほこりから出てくるかもしれません、あなたの名前がその上にあります。しかし、あなたの魂はどこにありますか？ 覚えておいてください、あなたはどこかにいるでしょう。あなたが何もないかどこにもいなかった時がありましたが、あなたが何かまたはどこかにいる時以外に時はありません。

あなたがしなければならないのは、自分自身を明け渡して手を挙げ、「主よ、これはあなたへの私の証です。私は手を挙げて来ます。」私たちが祈る前に、別のものはありますか？ 私たちは大きな祈りの列を得ました。神はあなたを祝福します、お父さん、私はあなたの手を見る。神はあなたに憐れんでください、この兄弟。兄弟よ、神はあなたを憐れんでください。私の左に行くと、あなたの手も見えます。どこか？ 神はあなたを祝福します、そこにいて小さな男の子たち。小さな仲間が手を挙げているのが見えます。

60 あなたは小さな子供が何かであることを知っています—神は彼らの小さな心に語りかけます。神はこの男、手を上げたスペインの弟を祝福します。すぐ後ろに座っている老人、神はあなたを祝福します、先生。平和と力があなたを待っています。それはあなたがそれを信じた瞬間にあなたのものでなければなりません。

バルコニーに上がって、はい、神はそこであなたを祝福します、私はあなたに会います、ハニー。誰か...？ 神はこの人を祝福し、ここに置かれます。私の兄弟は、神の言葉と主イエス・キリストの流された血に基づいて、あなたの心の奥底から、あなたは手を挙げたと信じています、あなたは永遠の命を持っており、決して滅びることはなく、個人的な救い主としての主イエス・キリスト。

61 あなたはそれを望むことはできません。神はそれをあなたのところに来させなければなりません。ただ考えてみてください、誰かが座っていると、聖霊は今があなたの手を上げる時だと言います、そしてあなたはそれを拒絶しますか？ ほら、それが聖霊です。イエスは言われました、「父が彼を引き寄せない限り、だれもわたしのところに来ることはできません。……何が引き寄せられ、あなたのドアをノックして言っているのですか」これがそれです。これだ。」？ 今すぐ手を挙げて言ってください....

そして、あなたは言います。「ああ、私はしたくありません。」 ああ、私の、そしてその日、あなたは「ああ、

私はしたい」と言うでしょう。

彼は「私—したくない」と言うでしょう。今夜来てください。わからない……ほら、友よ、主イエスがいつ来るのかはわかりません。しかし、今夜ここに座っている私たちの多くがいます。来年の今度は、私たちの体がこの墓の中で形作られるかもしれません。

今夜ここに座っているこれらの若い女性と若い男性は、おそらく彼らの若い年齢で美しいでしょう。今日から6週間後、墓の向こうに、おそらく神なしで、キリストなしで、希望もなく…死んで永遠に行きました。今夜、聖霊があなたを救いたいと願っているとき。届きませんか？

62 私はこれを1つ知っています、私たちがここに座っているのと同じように、来る日が来るのです…私たちは…ここにいるすべての人がいなくなることをしなければなりません。その時、私はあなたと一緒に立ってなければなりません、裁きが出たとき、聖霊は「あなたはその夜何をしましたか？」と言うでしょう。

私はこう言います。「主よ、私は無知の下で、彼らに神の啓示が来なければならないと彼らに告げようと思いました。そして、彼らの多くは手を挙げました、父よ。」それなら、彼はあなた方一人一人を知っています。彼はあなたの名前を書き留めています。ああ、あなたはどれほど幸せになるでしょう。あなたが彼を受け入れたので、私たちはお互いに腕をまわし、喜びます。

今祈る前に別のものはありますか？ よし、今、敬虔にそして静かに頭を下げましょう。主に来る魂。さて、あなたが座っている場所で、手を挙げたあなたと、おそらくそうではなかったあなたは、神が今言われたことを想像してみてください。彼は言いました、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持っている。滅びることはありませんが、永遠の命を得て、決して非難されることはありません。」あなたは死を過ぎ去りました。あなたは彼を信じているので、キリストは今あなたを罪と死から解放しました。あなたは彼の言葉を信じました。

63 さて、父よ、私はあなたの手にすべての人をここに託します。手を挙げた人たちはあなたを受け入れました。親愛なる主よ、私は彼らの心から、彼らがあなたの御子、主イエスの流された血に基づいてあなたに来ていることを知っています。親愛なる父よ、あなたの言葉はあなたがそれらを受け入れると言っていました。そして、私は彼らが今、誰もが受け入れていると信じています。父よ、私は彼らに感謝します、そして私は彼らを愛しています。

そして、私はあなたのしもべとして、彼らをあなたに与えます。聖霊が彼らの人生を満たし、この旅を通して彼らを導き、あなたが彼らに与えることができる最高の、天の豊かな祝福からの旅の憐れみを彼らに与えるためです。

そしていつの日か、より良い土地で、子羊の血で洗われ、救われた一人一人に会えますように。そして、私たちは座って、その間ずっとそれについて話します。それまで、あなたの聖霊が一人一人を導きますように。私たちは彼の名前、アーメンでそれを求めます。私はそれが好きです、姉妹。それを続けてください。ここにそれを続けてください。

64 私たちは土地について聞いたことがあります、

遠くの鎖で、

何人が知っていますか…誰かがその歌を知っていますか？ それは最も美しい曲のひとつだと思います。歌えません。私は確かにそれが好きです。美しい曲だと思います。

土地があります…遠くの鎖に、

それは私たちが決して年をとらない土地です。

今、何人がそれを知っていますか？手を挙げてください。トレーシー兄弟、ちよつとここに来てくれませんか？救われた人々のために私たちのためにその合唱を導いてください。「決して年をとらない」、大丈夫です。

美しい土地があります、

遠くの鎖で、

イエスによって高いところに建てられました

私たちが決して死ぬことのない場所

「これは私たちが決して年をとらない土地です。

年をとらない、年をとらない、

私たちが決して年をとらない土地で、

年をとらない、年をとらない、

私たちが決して年をとらない土地で。

65 振り向いて、誰かと握手しましょう...今あなたの隣に座って、「隣人、主を賛美しなさい。私たちはあなたがここにいることをとてもうれしく思います。神はあなたを祝福します。」主イエスを受け入れるために手を空中に上げた人々を歓迎します。ああ、私の、素晴らしい。

ああ、あなたはこのような会議が好きではありませんか？ それはただあなたを落ち着かせ、本当に気分が良く、あなたの心を....何もあなたを動揺させるものではなく、何も、ただみんなに恋をしていると感じることはありません。それは素晴らしいことではありませんか？ ただ考えてみてください、聖霊が今ここにいて、私たちを導き、導きます。

手を挙げた人の中には、もう一度手を挙げて、「ああ、今はとても気分が良くなった」と言う人が何人いるでしょう。手を挙げてください。ああ、私はただ見えています。「永遠に主を賛美しなさい」としましょう。それは素晴らしいことです。

さて、きっと彼は今夜私たちの病気や苦しみを癒してくれるでしょうね。さて、それはラインを始める時です。さて、見てみましょう、私はここで小さなチケットを手に入れました。さて、祈りの列で、ここに何人並んでいるかがわかります。さて、祈りのカード番号Aを持っている人は、すべてのAを取得します。それが最初に配られたものでした。では、Aさんが最初にここに並ぶのでしょうか？ 祈りのカードA、この右側に並んでいます。ええ、たぶん、あそこの壁にぶつきらぼうに行ったら、男の子は言います。あなたはここを通り抜けます。それはそれをより良くするでしょう。プレイヤーカードAをお持ちの方。

66 さて、もし私たちがここに牧師たちを案内人として迎えるなら...あるいは、むしろ案内係として、私たちは降りて祈りのカードを並べます。最初に祈りのカードAだけで、それから私たちはできる限り他の人に行きます。

ああ、私の。その歌と一緒に歌いましょう。さあ、さあ。

ただ信じなさい、ただ信じなさい、

すべてのことが可能です、信じるだけ、

信じるだけ.....

私はあなたが何をしているのかをあなたに話します(これらの車椅子ケースのいくつかは祈りのカードさえ持っていません。):次の番号に電話する間、ストレッチャーと車椅子ケースをここに置いたままにしておくなら、私は降りてきて祈るでしょうカードを持っているかどうかに関係なく、すべてのストレッチャーと車椅子ケースがここにあります。そして、彼らは彼らをプラットフォームに連れてくる必要はありません。ちょうどここです。プラットフォームの上を歩くことができない不自由な人など、ただここに立つてもらっただけで、私たちは....

67 さて、壁にプレイヤーカードAを並べましたか？ あそこ、友達、もしあなたなら。彼らが彼らに到達できるように、その方法の真上に。さて、彼らが彼らを乗り越えている間、私はあなたに何かを聞きたいです。イエス・キリストがこれらの声明を出したと信じている人はどれくらいいますか。私の名において、彼らは悪魔を追い出し、新しい舌で話し、蛇を取り上げ、致命的なものを飲みます、それは彼らに害を及ぼすことはありません。そして、彼らが病人に手を置いた場合、彼らは回復するでしょう。」? それは聖書ですか? 大丈夫です。

68 さて、もし私たちが信仰の祈りを祈り、神の御言葉に義務付けられている神に尋ねるなら、私たちは信じていますね。彼は御言葉を守る義務があります。さて、今夜これをやっています、友達、私にもそういう人がいるから……それは最も哀れなことです……。

彼らが並んでいる間、私はあなたに少し何かを言いたいです。このムーア兄弟は、少し前に私と一緒にフィンランドにいました。私は小さな女の子を見ました。彼らは私を兵士と一緒に連れてきていました。死からよみがえった小さな男の子がいました。私はそれが起こる前に、それが起こる2年前に、ここフェニックスでそれについてすべてあなたに話しました、それは起こるだろうということでした。

そして、この小さな男の子は死からよみがえりました。そして、私は彼らが通りを上下に立っていたと言います。そして、あなたはその場所に近づくことさえできませんでした。そして、何人かの兵士が私を連れてきていました。私はその場所の少し古い寮を通って、建物に入ってきました。彼らはすでに私のために歌っていました…

69 そして、フィンランド人の少女が出て行った。彼女は足を動かすことができなかったので、彼女は彼女の足にブレースを持っていました。そして、それは彼女の周りの大きなものであり、彼女の上のベルトが彼女のつま先に引っかかっていた。そして、彼女が2つのクラッチを持って動く方法で、彼女はそれらを置いて小さな肩を引っ張ると、そのストラップが彼女の足を引っ張るでしょう、そして彼女はその手足を使う必要がなかったので、彼女の周りのブレースは彼女を捕まえると、彼女はどのように歩くでしょう。かわいそうなぼろぼろの物、彼女の小さなスカートはぼろぼろにぶら下がっていて、彼女の小さな髪はすべて切り刻まれていました。そして私は、彼女が小さなフィンランドの戦争孤児であったことを知りに来ました。彼女の母親と父親は戦争で殺されていました。

そして、その婦人寮を出たとき、彼女は見て、何か間違ったことをしたと思いました。子供は小さな頭を下げ、その小さなぼろぼろの髪を見上げました。私は、その小さなことが私に来たいと思った。そして私はそこに少し立っていました、そして兵士たちは私を押し込もうとしました。私はただそこに立っていました。そして、私は彼らと話すことができませんでした、なぜならすべてフィンランド人だからです。

70 そして、その小さな女の子、私は彼女が来たいと思っていました。それで私は彼女を見渡して、私はこのように彼女に動いた。そして彼女はそこにやって来て、これらの小さなクラッチが彼女の腕の下にあり(彼らの写真は本にあります)、それで彼女は小さなクラッチを出し始めました。そして、私はその子供を来させて、私はただ立っていました、そして、彼女が私がいるところにすぐに来るまで、彼女はこのように来ました。そして彼女は手を伸ばして私のコートを手に取り、私のコートのポケットにキスをしました。彼女はこれらの小さなクラッチで後退し、小さなスカートを引き出して「キイトス」と言いました。それは「ありがとう」という意味です、そうですね。

彼女は見上げると、小さな唇がそのように震え、小さな赤ちゃんの青い目から涙が流れ出し、「キイトス」と言いました。ああ、私の、私の心はほとんど壊れてしまうでしょう。そして私は見て、考えました…私は言いました、「神はあなたを祝福します、ハニー。私の言っていることが聞こえませんが、彼があなたの小さな体を癒してくださいますように。」そして、私がそのように見上げたとき…今、彼女は私ではなく神に敬意を払っています…

71 ほら、神に近づくことができるのは、真鍮の蛇を通してしか神に近づきませんでした。彼らは預言者を通してそれに近づきました。彼らは使徒たちを通してそれに近づきました。彼らは説教者を通して、そして(見る)道具を通してそれに近づきました。

それで、その少女は、私が彼女を見ている間、彼女と話そうとしている間、私は見ました、そして、私はこのように来るビジョンを見ました。そして、そこに子供は中かっこも何もなしで歩いていました。

今、私はそれを彼女に届けることができませんでした。私は彼女に言うことができませんでした。そして兵士たちが私を押し進め、バクスター兄弟が来て私を捕まえました。その夜、ムーア兄弟、あなたはそこにいたと私は信じています。そして、私たちがステージに出たとき…そして私たちは病人のために祈り始め、聖霊がそこにいる人々に話し、彼らの言語さえ話すことができませんでした…彼らが誰であるか、どこにいるのかを彼らに伝えてください彼らは、何が悪かったのか、そのようなものが2つか3つだけで、ブレースやクラッチなどを積み上げて立ち去ったのです。ただの単純な信者。

72 それから彼らは私をラインから外し始めました。私は「あと少しだけ持っていきましょう」と言いました。そして、神の摂理によって、その子供はプラットホームに現れる次の子供でした。そして彼女が来たとき、私

は通訳のアイザクソン夫人に「今、あなたは私が言うことを言うだけです」と言いました。そして私は言いました、「恋人よ、神はあなたの信仰に報いました。彼はそこであなたを癒しました。ここに戻って、ブレースを外してもらいます。戻ってきて見せてください。」

私は別のもののために祈り始めます。数分後、男性がブレースと大きな靴とこれらすべてのブレースを外したとき、ここで彼女はプラットフォームに出くわし、できるだけ激しく走り、ブレースを頭の上に上げて、ただ喜びました。

なぜですか？ 私は彼女を癒しましたか？ いいえ、先生。何が彼女を癒しましたか？ 彼女の畏敬の念と神の言葉へのアプローチ、それはまさにその通りでした。もし私が世界最大の偽善者だったとしたら、神はとにかくその子供の信仰を尊重していたでしょう。しかし、彼女は非常に多くのことが行われているのを見たので、かわいそうなことは、彼女があなたにそれを近づけることができれば、それは行われると信じていました。

73 ほら、あなたは「それは聖書ですか、説教者ですか？」と言います。はい、先生。私は聖書の中で彼らが漁師の影に横たわっていたのを覚えています。そして、彼は神の僕だったので、彼の影だけが彼らの上を通り過ぎました。彼は聴衆の中に立ってアナニアやサツピラなどに言いました、そして彼らは彼が神の僕であることを知っていました。そして、その使徒の影だけが彼らの上を通り過ぎ、一人一人が完全にされました。そうですか？ 確かにそれは聖書です。

74 さて、私たちが今祈っている間、あなた方全員に、もしあなたがプラットホームに出くわしたら.... '私が人と10、15分かかることができないことを知っているコース、私は何を祈るつもりですできます、私の愛する兄弟。考えてみてください、もしそれが私の母がそこに立っていたらどうでしょうか？ もしそれが私の妻だったら？ それが私の赤ちゃんだったら？ それが私の兄弟または父である場合はどうなりますか？ 私は誰かがそれについて本当に誠実であって欲しいです。

そして、それは誰かの母親、父親、妻などです。それは誰かのものであり、神は私に同じように責任を負わせてくださいますね。ですから、それは深い敬意と誠実さの中になければなりません。だから私にできる唯一のことは、友達、一度に一人だけ取って、ここで彼らを選び出すことです。

彼はその理由やそのようなことをあなたに言うかもしれません、しかし....今あなたの告白をしてください。あなたがすべてをすること、あなたは神のために生きること、そして神がここに出くわしたとき、あなたは神が言われたことを成就し、「病人に手を置くと彼らは回復する」と信じることを神に告げなさい。そして、あなたがそうするとき、すぐに....

さて、あなたがここを通り過ぎるとき、みんなを聞いてください、それは理由ではありません....これはあなたのための単なる連絡場所です。ここを離れるときは、立ち去ってこう言います。「主イエス様、ありがとう。それは永遠に解決しました。」あなたの心の中でそれを信じて、来てください。トーテムポールなどに触れるために来るのではなく、神の言葉に基づいてそれを受け入れたと信じて来てください。そして、私は神の言葉に基づいてあなたに手を置いています、彼はそれをするように言われました。それなら、信じるなら、あなたは癒されなければなりませんね。

75 さて、祈りのカード....次はEです。祈りのカードEは何枚持っていますか？ 手を挙げてください。さて、上に行きます...または、戻って来て、ここに並んでください。祈りのカードE.そして、あなたがそこに行っている間、みんなでしましょう....ここに来て、トレーシー兄弟、「信じるだけ」を歌ってください。ストレッチャーケースなどのために祈りたいです。

「主に感謝します」としましょう。車椅子から出ている人々を見てください。車椅子の設定はありませんが、人々が今何をしているのかはわかりません。不自由な人たち....皆さん、「主を賛美しなさい」としましょう。ここに座っているものを除いて、すべての空の車椅子。兄弟よ、心から信じてください。信じれば起き上がることもできます。大丈夫です。今、病人と苦しんでいる人を連れてきてください。皆さん、「主を賛美しなさい」としましょう。手を挙げたまま、これらの人々が列を通り抜ける間、数分間祈ってください。彼らが癒されるように祈りましょう。さあ、人々、そしてただ今祈ってください。

76 主イエスの名において....(トレーシー兄弟、そのマイクに向かってください。)神様、私たちの姉妹を憐れんで、彼女を癒してください。神様、私たちの姉妹を祝福し、主イエスの御名によって彼女を癒してください。神はあなたを祝福します。

彼らは病人に手を置き、回復するでしょう。皆さん、信じてください。イエスはここにいます。

大丈夫です。祈りのカード番号P、P、Mはこちら側にあります。案内係は……言うでしょう、友達、私はそれをそんなに見たことがない、素晴らしい。ビジョンはここで壊れています。人々は癒されています。これは素晴らしいです。次の祈りのカードであるPとMはこちら側に置いてください。

さて、あなたが着席したいなら、あなたがしたいことは何でもできます。ただ祈り続けなさい。人々が来ている間、ただ祈り続けてください。

主イエスに手を挙げましょう。神よ、天の父よ、私たちはこの聖霊の大いなる注ぎをあなたに感謝します。来る霊の油注ぎ、人々を祝福し、彼らの顔が神の栄光で照らされるのを見るのです。そして今、主よ、この建物にこれ以上病気があれば、私たちはすべての病気を非難します。私たちの神のために、私たちは彼らの車椅子を空にしてくれたことに感謝しています。私は祈ります、神よ、彼らはあなたに二度とそれらを使わせないでしょう。彼らは明日の夜に戻って、イエス・キリストの名において、歩き、喜び、そして神を賛美します。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7